



## CHAPTER 4

# Cisco Unified IP Phone の設定値の設定

Cisco Unified IP Phone には、設定可能な数多くのネットワーク設定値が用意されています。電話機をユーザが使用できる状態にするには、これらの設定値の修正が必要になる場合もあります。電話機のメニューを使用して、これらの設定値にアクセスし、その一部を変更することができます。電話機で表示専用になっている設定値は、Cisco Unified CM の管理で設定できます。

この章は、次の項で構成されています。

- 「Cisco Unified IP Phone の設定メニュー」 (P.4-1)
- 「[ネットワークのセットアップ (Network Setup) ]メニュー」 (P.4-4)
- 「[IPv4 のセットアップ (IPv4 Setup) ]メニューのオプション」 (P.4-6)
- 「[セキュリティ設定 (Security Configuration) ]メニュー」 (P.4-8)

## Cisco Unified IP Phone の設定メニュー

Cisco Unified IP Phone には、次の設定メニューが用意されています。

- [ネットワークのセットアップ (Network Setup) ]: さまざまなネットワーク設定値を表示および設定するためのオプションを提供します。詳細については、「[ネットワークのセットアップ (Network Setup) ]メニュー」 (P.4-4) を参照してください。
- [IPv4 設定 (IPv4 Configuration) ]: [ネットワークのセットアップ (Network Setup) ]メニューのサブメニューです。IPv4 のメニュー項目を使用して、追加のネットワーク オプションを表示、設定できます。詳細については、「[IPv4 のセットアップ (IPv4 Setup) ]メニューのオプション」 (P.4-6) を参照してください。

[ネットワークのセットアップ (Network Setup) ]メニューにあるオプション設定値を変更するには、オプションのロックを編集のために解除しておく必要があります。手順は、「オプションのロック解除とロック」 (P.4-3) を参照してください。

オプション設定値の編集や変更に使用できるキーについては、「設定値の編集」 (P.4-3) を参照してください。

Cisco Unified CM の管理の [電話の設定 (Phone Configuration) ]ウィンドウにある [設定アクセス (Settings Access) ]フィールドを使用すると、電話機のユーザが電話機の設定にアクセスできるかどうかを制御できます。

### 関連項目

- 「設定メニューの表示」 (P.4-2)
- 「オプションのロック解除とロック」 (P.4-3)
- 「設定値の編集」 (P.4-3)

- 「[ネットワークのセットアップ (Network Setup) ]メニュー」 (P.4-4)
- 「[IPv4 のセットアップ (IPv4 Setup) ]メニューのオプション」 (P.4-6)

## 設定メニューの表示

設定メニューを表示するには、次の手順を実行します。



(注)

Cisco Unified CM の管理の [電話の設定 (Phone Configuration) ] ウィンドウにある [設定アクセス (Settings Access) ] フィールドを使用すると、電話機から [設定 (Settings) ] メニューやこのメニューのオプションにアクセスできるかどうかを制御できます。設定アクセス フィールドでは、次の値を設定できます。

- [有効 (Enabled) ] : [設定 (Settings) ] メニューへのアクセスを許可します。
- [無効 (Disabled) ] : [設定 (Settings) ] メニューへのアクセスを禁止します。
- [非許可 (Restricted) ] : [ユーザ設定 (User Preferences) ] メニューへのアクセスを許可し、音量の変更を保存することを許可します。[設定 (Settings) ] メニューの他のオプションへのアクセスは禁止します。


[管理者設定 (Administrator Settings) ] メニューのオプションにアクセスできない場合は、設定アクセス フィールドを確認してください。

### 手順

- ステップ 1** アプリケーション ボタンを押します。
- ステップ 2** [管理者設定 (Admin Settings) ] を選択します。
- ステップ 3** パスワードを入力し、**選択** ボタンを押します。管理者設定パスワードは、Cisco Unified CM の管理ページにある [共通の電話プロファイルの設定 (Common Phone Profile Configuration) ] の [電話ロック解除パスワード (Local Phone Unlock Password) ] パラメータで設定します。



(注) [電話ロック解除パスワード (Local Phone Unlock Password) ] パラメータが設定されていない場合、ユーザは、パスワードを入力せずに、[管理者設定 (Admin Settings) ] にアクセスできます。

- ステップ 4** 次のいずれかの操作を実行して、目的のメニューを表示します。
  - ナビゲーション バーを使用して目的のメニューを選択し、**選択** ボタンを押します。
  - 電話機のキーパッドを使用して、メニューに対応する番号を入力します。
- ステップ 5** サブメニューを表示するには、**ステップ 4** を繰り返します。
- ステップ 6** メニューを終了するには、**戻る**  ボタンを押します。

### 関連項目

- 「[オプションのロック解除とロック] (P.4-3)
- 「[設定値の編集] (P.4-3)
- 「[ネットワークのセットアップ (Network Setup) ]メニュー」 (P.4-4)

- 「[IPv4 のセットアップ (IPv4 Setup) ] メニューのオプション」 (P.4-6)

## オプションのロック解除とロック

電話機にパスワードを設定すると、電話機画面の [ 管理者設定 (Admin Settings) ] でパスワードを入力しない限り、管理者オプションを変更できなくなります。

電話機にパスワードを適用するには、Cisco Unified CM の管理で、[ 共通の電話プロファイルの設定 (Common Phone Profile Configuration) ] ウィンドウを表示します ([ デバイス (Device) ] > [ デバイスの設定 (Device Settings) ] > [ 共通の電話プロファイル (Common Phone Profile) ])。[ 電話ロック解除パスワード (Local Phone Unlock Password) ] オプションで、パスワードを入力します。電話機が使用する共通の電話プロファイルに、パスワードを適用します。

### 関連項目

- 「設定メニューの表示」 (P.4-2)
- 「設定値の編集」 (P.4-3)
- 「[ネットワークのセットアップ (Network Setup) ] メニュー」 (P.4-4)
- 「[IPv4 のセットアップ (IPv4 Setup) ] メニューのオプション」 (P.4-6)

## 設定値の編集

オプション設定値を編集するときは、次のガイドラインに従ってください。

- 数値と文字を入力するには、キーパッド上のキーを使用します。
- キーパッドを使用して文字を入力するには、対応する数値キーを使用します。キーを 1 回または何回か押して、個々の文字を表示します。たとえば、2 キーを 1 回押すと「a」、すばやく 2 回押すと「b」、すばやく 3 回押すと「c」です。しばらく待機すると、カーソルが自動的に進んで、次の文字を入力できるようになります。
- (IP アドレスなどに含まれる) ピリオドを入力するには、キーパッドの \* を押します。
- カーソルを左端の文字に移動するには、ナビゲーションバーの上向き矢印を押します。右端の文字に移動するには、ナビゲーションバーの下向き矢印を押します。
- 入力を誤ったときは、**保留/復帰** ボタンを押します。このボタンを押すと、カーソルの左側にある文字が削除されます。
- 行ったすべての変更を破棄する場合は、**選択** ボタンを押す前に**戻る** ボタンを押します。
- 編集された値は、親メニューに戻って変更の保存を確認した後に反映されます。

### 関連項目

- 「設定メニューの表示」 (P.4-2)
- 「オプションのロック解除とロック」 (P.4-3)
- 「[ネットワークのセットアップ (Network Setup) ] メニュー」 (P.4-4)
- 「[ネットワークのセットアップ (Network Setup) ] メニュー」 (P.4-4)

# [ネットワークのセットアップ (Network Setup) ] メニュー

[ネットワークのセットアップ (Network Setup) ]メニューは、さまざまなネットワーク設定値を表示および設定するためのオプションを提供します。表 4-1 では、これらのオプションと、変更可能な場合は、変更方法について説明します。

[ネットワークのセットアップ (Network Setup) ]メニューにアクセスする方法については、「設定メニューの表示」(P.4-2) を参照してください。

オプションの編集に使用できるキーについては、「設定値の編集」(P.4-3) を参照してください。

表 4-1 [ネットワークのセットアップ (Network Setup) ]メニューのオプション

オプション	説明	変更の手順
IPv4	<p>[IPv4 のセットアップ (IPv4 Setup) ]サブメニューでは、次の作業を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DHCP サーバによって割り当てられた IP アドレスの、電話機による使用のオン/オフ。</li> <li>IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ルータ、DNS サーバ、および代替 TFTP サーバの手動設定。</li> </ul> <p>IPv4 のアドレス フィールドの詳細については、表 4-2 を参照してください。</p>	[IPv4 のセットアップ (IPv4 Setup) ]までスクロールし、 <b>選択</b> を押します。
MAC アドレス (MAC Address)	電話機固有のメディア アクセス コントロール (MAC) アドレス。	表示のみ (変更不可)。
ホスト名 (Host Name)	DHCP サーバが電話機に割り当てた、一意のホスト名。	表示のみ (変更不可)。
ドメイン名 (Domain Name)	電話機が常駐している Domain Name System (DNS; ドメイン ネーム システム) ドメインの名前。	<ol style="list-style-type: none"> <li>[DHCP を使う (DHCP Enabled) ] オプションを [No] に設定します。</li> <li>[ドメイン名 (Domain Name) ] オプションまでスクロールし、<b>選択</b>ボタンを押して、新しいドメイン名を入力します。</li> <li><b>選択</b>ボタンを押して確認します。</li> </ol>
接続先 VLAN ID (Operational VLAN ID)	<p>電話機が所属する、Cisco Catalyst スイッチに設定された補助 Virtual Local Area Network (VLAN; 仮想 LAN)。</p> <p>電話機が補助 VLAN をまだ受信していない場合、このオプションは管理 VLAN を示しています。</p> <p>補助 VLAN と管理 VLAN のどちらも設定されていない場合、このオプションは 4095 というデフォルトの VLAN ID に設定されます。</p>	<p>表示のみ (変更不可)。</p> <p>電話機は、電話機が接続されているスイッチから、Cisco Discovery Protocol (CDP) を通じて接続先 VLAN ID を取得します。VLAN ID を手動で割り当てるには、[管理 VLAN ID (Admin VLAN ID) ] オプションを使用します。</p>
管理 VLAN ID (Admin VLAN ID)	<p>電話機がメンバーになっている補助 VLAN。</p> <p>電話機がスイッチから補助 VLAN を受信していない場合のみ使用され、その他の場合は無視されます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>[管理 VLAN ID (Admin VLAN ID) ] オプションまでスクロールし、<b>選択</b>ボタンを押して、新しい管理 VLAN 設定値を入力します。</li> <li><b>選択</b>ボタンを押して確認します。</li> </ol>

表 4-1 [ネットワークのセットアップ (Network Setup) ]メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更の手順
PC VLAN	ボイス VLAN をサポートしないサードパーティ スイッチと電話機が連携できるようにします。このオプションを変更する前に、[管理 VLAN ID (Admin VLAN ID) ] オプションを設定する必要があります。	<ol style="list-style-type: none"> <li>[管理 VLAN ID (Admin VLAN ID) ] オプションが設定されていることを確認してください。</li> <li>[PC VLAN] オプションまでスクロールし、<b>選択</b>ボタンを押して、新しい PC VLAN 設定値を入力します。</li> <li><b>選択</b>ボタンを押して確認します。</li> </ol>
SW ポートのセットアップ (SW Port Setup)	<p>ネットワーク ポートの速度と二重化モード。有効な値は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動ネゴシエーション (Auto Negotiate)</li> <li>[100 ハーフ (100 Half) ] : 100-BaseT/半二重</li> <li>[100 フル (100 Full) ] : 100-BaseT/全二重</li> <li>[10 ハーフ (10 Half) ] : 10-BaseT/半二重</li> <li>[10 フル (10 Full) ] : 10-BaseT/全二重</li> </ul> <p>電話機がスイッチに接続されている場合は、スイッチ上のポートを電話機と同じ速度および二重化方式に設定するか、両方を自動ネゴシエーションに設定します。</p> <p>このオプションの設定値を変更する場合は、[PC ポート設定 (PC Port Configuration) ] オプションを同じ設定値に変更する必要があります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ネットワークのセットアップのオプションのロックを解除します。</li> <li>[SW ポートのセットアップ (SW Port Setup) ] オプションまでスクロールし、<b>選択</b>ボタンを押します。</li> <li>目的の設定値までスクロールし、<b>選択</b>ボタンを押します。</li> </ol>
PC ポートのセットアップ (PC Port Setup)	<p>アクセス ポートの速度と二重化モード。有効な値は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動ネゴシエーション (Auto Negotiate)</li> <li>[100 ハーフ (100 Half) ] : 100-BaseT/半二重</li> <li>[100 フル (100 Full) ] : 100-BaseT/全二重</li> <li>[10 ハーフ (10 Half) ] : 10-BaseT/半二重</li> <li>[10 フル (10 Full) ] : 10-BaseT/全二重</li> </ul> <p>電話機がスイッチに接続されている場合は、スイッチ上のポートを電話機と同じ速度および二重化方式に設定するか、両方を自動ネゴシエーションに設定します。</p> <p>このオプションの設定値を変更する場合は、[SW ポート設定 (SW Port Configuration) ] オプションを同じ設定値に変更する必要があります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ネットワークのセットアップのオプションのロックを解除します。</li> <li>[PC ポートのセットアップ (SW Port Setup) ] オプションまでスクロールし、<b>選択</b>ボタンを押します。</li> <li>目的の設定値までスクロールし、<b>選択</b>ボタンを押します。</li> </ol>

## [IPv4 のセットアップ (IPv4 Setup) ] メニューのオプション

[IPv4 のセットアップ (IPv4 Setup) ] メニューは、[ネットワークの設定 (Network Setup) ] メニューのサブメニューです。[IPv4 のセットアップ (IPv4 Setup) ] メニューにアクセスするには、[ネットワークの設定 (Network Setup) ] メニューで [IPv4] オプションを選択します。

表 4-2 に、[IPv4 の設定 (IPv4 Setup) ] メニューのオプションの説明を示します。

オプションの編集に使用できるキーについては、「設定値の編集」(P.4-3) を参照してください。

表 4-2 [IPv4 のセットアップ (IPv4 Setup) ] メニューのオプション

オプション	説明	変更の手順
DHCP	電話機の DHCP が有効か無効かを示します。  DHCP が有効な場合、DHCP サーバによって電話機に IP アドレスが割り当てられます。DHCP が無効な場合、管理者が電話機に手動で IP アドレスを割り当てる必要があります。	DHCP オプションまでスクロールして、 <b>選択</b> ボタンを押し、次に <b>ナビゲーション</b> ボタンを使用し、[いいえ (No) ] オプションを選択して DHCP を無効にするか、[はい (Yes) ] オプションを選択して DHCP を有効にします。
IP アドレス (IP Address)	電話機のインターネットプロトコル (IP) アドレス。  IP アドレスをこのオプションで割り当てる場合は、サブネットマスクとデフォルトルータも割り当てる必要があります。この表の [サブネットマスク (Subnet Mask) ] オプションと [デフォルトルータ (Default Router) ] オプションを参照してください。	<ol style="list-style-type: none"> <li>[DHCP を使う (DHCP) ] オプションを [No] に設定します。</li> <li>[IP アドレス (IP Address) ] オプションまでスクロールし、<b>選択</b>ボタンを押し、新しい IP アドレスを入力します。</li> <li><b>選択</b>ボタンを押し確認します。</li> </ol>
サブネットマスク (Subnet Mask)	電話機で使用されるサブネットマスク。	<ol style="list-style-type: none"> <li>[DHCP を使う (DHCP Enabled) ] オプションを [No] に設定します。</li> <li>[サブネットマスク (Subnet Mask) ] オプションまでスクロールし、<b>選択</b>ボタンを押し、新しいサブネットマスクを入力します。</li> <li><b>選択</b>ボタンを押し確認します。</li> </ol>
デフォルトルータ 1 (Default Router 1)	電話機で使用されるデフォルトルータ ([デフォルトルータ 1 (Default Router 1) ])。	<ol style="list-style-type: none"> <li>[DHCP を使う (DHCP Enabled) ] オプションを [No] に設定します。</li> <li>適切な [デフォルトルータ (Default Router) ] オプションまでスクロールし、<b>選択</b>ボタンを押し、新しいルータの IP アドレスを入力します。</li> <li><b>選択</b>ボタンを押し確認します。</li> </ol>

表 4-2 [IPv4 のセットアップ (IPv4 Setup) ]メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更の手順
DNS サーバ 1 (DNS Server 1)	電話機で使用されるプライマリ DNS サーバ ([DNS サーバ 1 (DNS Server 1) ]) およびオプションのバックアップ DNS サーバ ([DNS サーバ 2 (DNS Server 2) ] ~ [DNS サーバ 5 (DNS Server 5) ])。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [DHCP を使う (DHCP Enabled) ] オプションを [No] に設定します。</li> <li>2. 適切な [DNS サーバ (DNS Server) ] オプションまでスクロールし、<b>選択</b>ボタンを押して、新しい DNS サーバの IP アドレスを入力します。</li> <li>3. <b>選択</b>ボタンを押して確認します。</li> </ol>
代替 TFTP (Alternate TFTP)	電話機が代替 TFTP サーバを使用しているかどうかを示します。	電話機で代替 TFTP サーバを使用する場合は、[代替 TFTP (Alternate TFTP) ] オプションまでスクロールし、[はい (Yes) ] オプションを選択します。電話機で代替 TFTP サーバを使用しない場合は、[いいえ (No) ] オプションを選択します。
TFTP サーバ 1 (TFTP Server 1)	電話機で使用される、プライマリの Trivial File Transfer Protocol (TFTP) サーバ。ネットワークで DHCP を使用していない場合、このサーバを変更するには [TFTP サーバ 1 (TFTP Server 1) ] オプションを使用する必要があります。  [代替 TFTP (Alternate TFTP) ] オプションを [Yes] に設定した場合は、[TFTP サーバ 1 (TFTP Server 1) ] オプションに 0 以外の値を入力する必要があります。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. DHCP を有効にしている場合は、[代替 TFTP (Alternate TFTP) ] オプションを [Yes] に設定します。</li> <li>2. [TFTP サーバ 1 (TFTP Server 1) ] オプションまでスクロールし、<b>選択</b>ボタンを押して、新しい TFTP サーバの IP アドレスを入力します。</li> <li>3. <b>選択</b>ボタンを押して確認します。</li> </ol>
TFTP サーバ 2 (TFTP Server 2)	プライマリの TFTP サーバが使用不能の場合に、電話機で使用されるオプションのバックアップ TFTP サーバ。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [TFTP サーバ 1 (TFTP Server 1) ] オプションに IP アドレスを入力します。</li> <li>2. [TFTP サーバ 2 (TFTP Server 2) ] オプションまでスクロールし、<b>選択</b>ボタンを押して、新しいバックアップ TFTP サーバの IP アドレスを入力します。</li> <li>3. <b>選択</b>ボタンを押して確認します。</li> </ol>
DHCP アドレス解放 (DHCP Address Released)	DHCP で割り当てられた IP アドレスを解放します。	[DHCP アドレス解放 (DHCP Address Released) ] オプションまでスクロールし、 <b>選択</b> ボタンを押した後、[はい (Yes) ] オプションを選択して DHCP アドレスを解放します。

#### 関連項目

- 「設定メニューの表示」 (P.4-2)
- 「オプションのロック解除とロック」 (P.4-3)
- 「設定値の編集」 (P.4-3)



## [セキュリティ設定 (Security Configuration) ]メニュー

[802.1X 認証 (802.1X Authentication) ] および [802.1X 認証ステータス (802.1X Authentication Status) ] メニューでは、802.1X 認証を有効にし、トランザクション ステータスを表示できます。

表 4-3 にこのメニューのオプションを示します。

表 4-3 802.1X 認証の設定

オプション	説明	変更の手順
デバイス認証	<p>802.1X 認証が有効かどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[有効 (Enabled) ]: 電話機は 802.1X 認証を使用してネットワーク アクセスを要求します。</li> <li>[無効 (Disabled) ]: デフォルト設定。電話機は CDP を使用して VLAN およびネットワークにアクセスします。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>[アプリケーション (Applications) ] &gt; [管理者設定 (Admin Settings) ] &gt; [セキュリティ (Security) ] &gt; [802.1X 認証 (802.1X Authentication) ] &gt; [デバイス認証 (Device Authentication) ] を選択します。</li> <li>選択ボタンを押します</li> <li>[デバイス認証 (Device Authentication) ] オプションを [有効 (Enabled) ] または [無効 (Disabled) ] に設定します。</li> <li>選択ボタンを押して確認します。</li> </ol>
EAP-MD5	<p>[デバイス ID (Device ID) ]: 電話機のモデル番号と一意の MAC アドレスから生成され、CP-&lt;model&gt;-SEP-&lt;MAC&gt; の形式で表示されます。</p> <p>[共有秘密鍵 (Shared Secret) ]: 電話機および認証サーバで使用するパスワードを選択します。パスワードには 6 ~ 32 文字の数字と文字を組み合わす。</p> <p>(注) 802.1X 認証を無効にするか、工場出荷時の状態にリセットすると、共有シークレットは削除されます。</p>	<p>デバイス ID は編集できません。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>[アプリケーション (Applications) ] &gt; [管理者設定 (Admin Settings) ] &gt; [セキュリティ (Security) ] &gt; [802.1X 認証 (802.1X Authentication) ] &gt; [EAP-MD5] &gt; [共有秘密鍵 (Shared Secret) ] を選択します。</li> <li>選択ボタンを押します。</li> <li>共有秘密鍵を入力します。</li> <li>選択ボタンを押して確認します。</li> </ol>
	<p>[レルム (Realm) ]: ユーザ ネットワーク ドメインを示します。常に [ネットワーク (Network) ] に設定されます。</p>	<p>802.1X 認証のレルム詳細を確認するには、[アプリケーション (Applications) ] &gt; [管理者設定 (Admin Settings) ] &gt; [セキュリティ (Security) ] &gt; [802.1X 認証 (802.1X Authentication) ] &gt; [EAP-MD5] &gt; [レルム (Realm) ] を選択します。</p>
トランザクション ステータス (Transaction Status)	<p>802.1X 認証のトランザクション ステータスを表示します。</p>	<p>802.1X 認証のトランザクション ステータスを確認するには、[アプリケーション (Applications) ] &gt; [管理者設定 (Admin Settings) ] &gt; [セキュリティ (Security) ] &gt; [802.1X 認証ステータス (802.1X Authentication Status) ] を選択します。</p>